

ソフトのインストールとアクティベーション

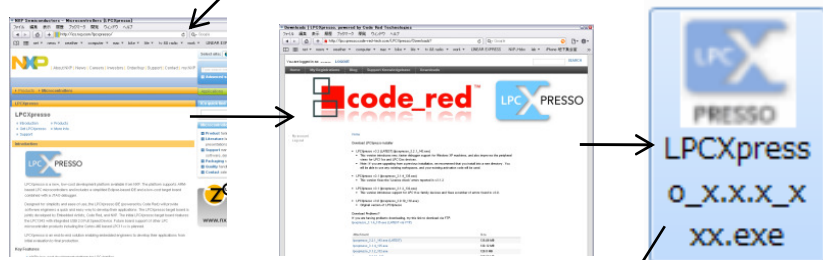
インストール手順の詳細は... <http://ics.nxp.com/lpcxpresso/>
「Getting started」を参照ください

使い方ビデオ開中

<http://ics.nxp.com/support/training/lpcxpresso.intro.1/>
<http://ics.nxp.com/support/training/lpcxpresso.intro.2/>

スタート

LPCXpresso IDEをダウンロードします。
次のURLから、CodeRed社のユーザ登録ページへ進み、
アカウント作成後に表示されるダウンロード・リンクから
「LPCXpresso IDE」をダウンロードします。
Windows版 と Linux版 の2種類があります。
<http://ics.nxp.com/lpcxpresso/#GetLPCXpresso>



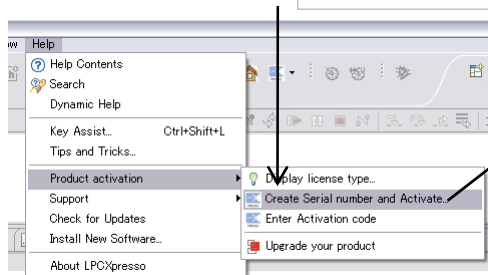
ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールを開始。
インストールWizerdに従ってインストールを完了します。



使用を開始する前に...

アクティベーションを行わない場合、
デバッグコードサイズは8KBに
制限されます

このソフトウェアを使用するには「**アクティベーション**」が必要です。
LPCXpressoを起動し、メニューから、
“Help” → “Product activation” → “Create serial number and register”
を選択します。



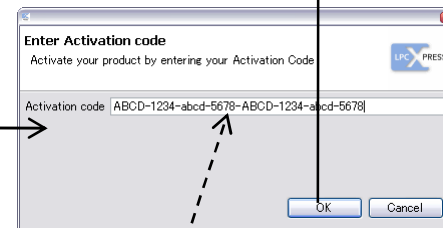
このシリアル番号はご使用のPCのOSと
ハードウェアから作られたもので、個人
を特定する情報を含んでいるものではありません

NXP LPCマイコンの情報は... www.nxp-lpc.com



完了

この後、「OK」ボタンを押すと完了です ☺

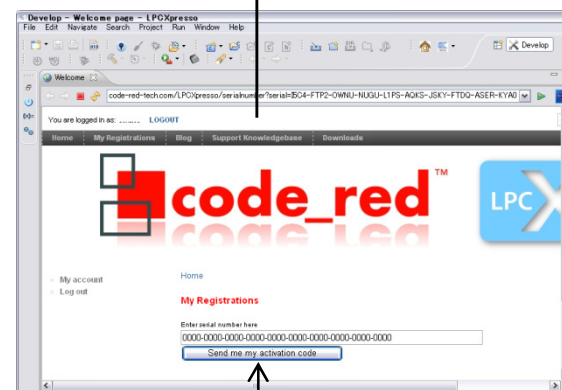


届いた アクティベーション・コードを、IDEの
“Help” → “Product activation” → “Enter activation code”
で表示される入力ウィンドウ内の欄に記入、「OK」ボタンを押すと完了です。

From: lpcxpresso@code-red-tech.com
Subject: LPCXpresso: Your activation code

Thank you for registering your product with serial number:
0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000.
Your activation code is:
ABCD-1234-abcd-5678-ABCD-1234-abcd-5678

To activate LPCXpresso, start the product and open the menu
Help->Product Activation->Enter Activation code.



LPCXpresso IDE内に「アクティベーション/登録」ページが表示されます。この
ページに必要事項を記入し送信すると数分で ✉ が届きます。

サンプル・コードのビルドと実行

インストール手順の詳細は...
<http://cs.nxp.com/lpcxpresso/>
 の「Getting started」を参照ください

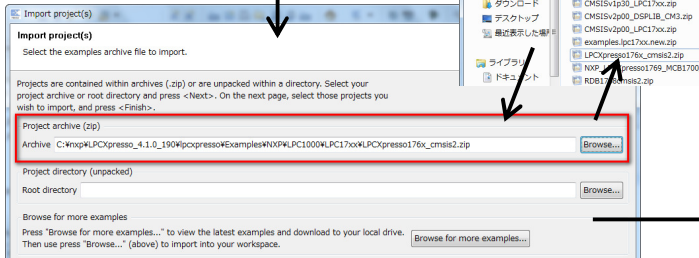
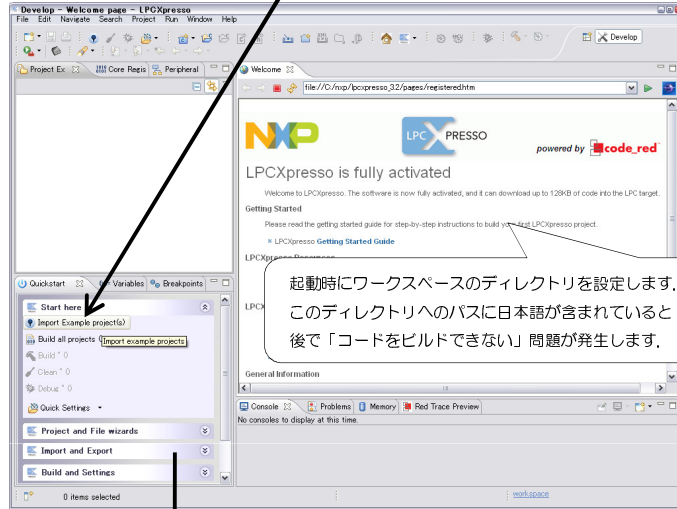
使い方ビデオ公開中

<http://cs.nxp.com/support/training/lpcxpresso.intro.1/>
<http://cs.nxp.com/support/training/lpcxpresso.intro.2/>

スタート

前ページのアクティベーションが完了したら、いよいよビルドと実行です。

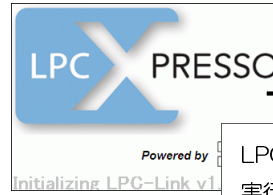
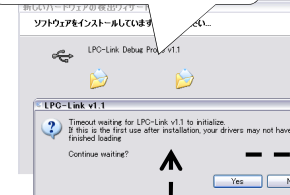
LPCxpressoを起動すると下のようなウィンドウが開きます。このウィンドウの左下のペイン内、Quickstart下の「Import Example project(s)」をクリックします。



LED点滅のサンプルを選択してみましょう。
 下記のzipファイルを選択し「Next」ボタンをクリックします。
 C:\npxp\LPCxpresso_4.1.0_190\lpcxpresso\Examples\NXP\LPC1000\LPC17xx\LPCxpresso176x_cmsis2.zip

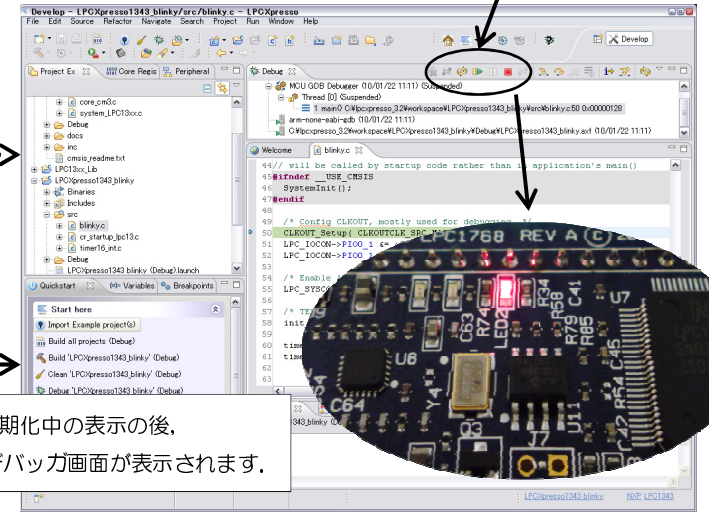
ここではLPC1769ターゲットとした場合の例を示しています。他のLPCxpressoボードをお使いで、xxxx_cmsis2.zip がない場合は NXP_LPCxpressoxxxx_xxxx.zip, LPCxpressoxxxx.zip または examples.xxxx.zip を選んでください。CMSISxxxx.zip ファイルではありません。

初回はドライバのインストールが行われます。



LPC-Link初期化中の表示の後、実行待ちのデバッグ画面が表示されます。

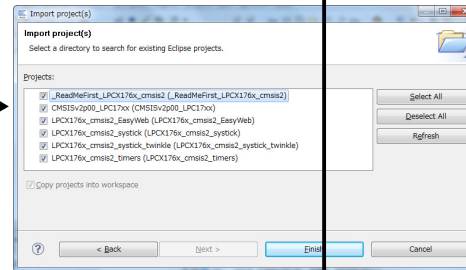
緑(三角)のボタンを押すと基板上のLED(LED2)が点滅します



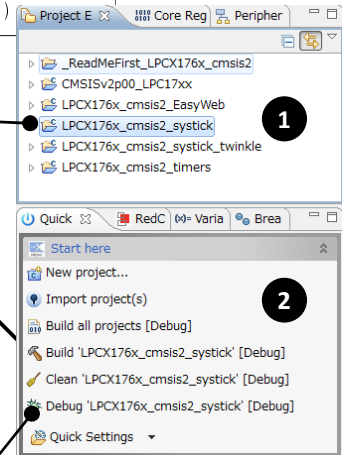
ウィンドウの左上のペイン内、Project Exの下にプロジェクトが表示されます。次に、(1)「LPCX176x_cmsis2_systick」を選択します。(なければ「blink」)

(2) ウィンドウの左下のビュー内、Quickstart下の「Debug \'LPCX176x_cmsis2_systick\' (Debug)」をクリックします。(blinkの場合は「Debug \'blink\' (Debug)」)

この前に、PCのUSBポートに基盤を接続しておいてください。



インポートするプロジェクトの選択を促されます。xxxx_systick または blinky というファイルが含まれていることを確認してください。なければ、戻ってインポートファイルを選択しなおしてください。デフォルトですべてを選択した状態になっているのでそのまま。



Debug 'LPC176x_cmsis2_systick' [Debug]